

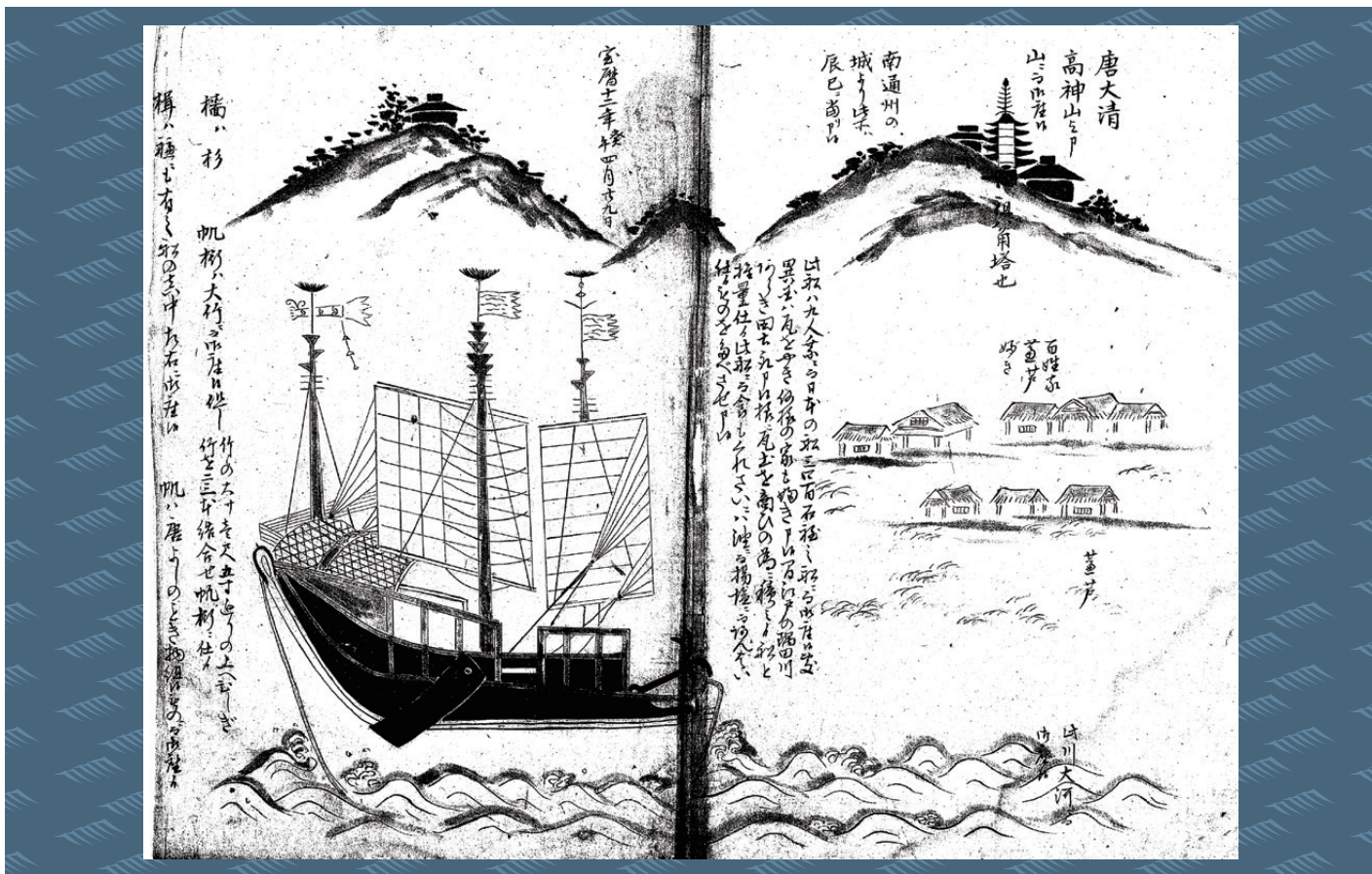
農民の漂流日記 — 上乘の遭難と異国体験 —

2021年3月20日(土・祝) 14:00~16:00

■ 講師: 小林 郁

Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30) 参加費無料

図版: 宮城県図書館蔵『船中日記並彼國ノ物語』より
https://eichi.library.pref.miyagi.jp/da/detail?data_id=040-57995



宝暦十一年(1761年)。奥州福島の城米を積んだ福吉丸は荒浜を出帆後、暴風で遭難した。漂流のすえ、福吉丸は清国の南通州(中国江蘇省南通市)にたどりつく。地元民の手厚い救護を受けた一行は、蘇州、上海を経て日本へ帰ることができた。この事件は、『通航一覽』や石井研堂の『異国漂流奇譚集』によって知られていた。ところが1958年、福吉丸に乗っていた上乘百姓武右衛門(山田武左衛門)の漂流日記が福島市大笹生で発見され、話題となった。2010年には、大笹生笹谷文化財保存会により現代語訳が刊行されている。

海を遠く離れた山里に暮らす農民は、異国漂流体験をどのように綴ったのか。武右衛門の日記と、今も残る彼の墓石を紹介したい。

■ 小林 郁 (こばやし かおる)

日本海事史学会会員

1964年生まれ。東京都東村山市在住。江戸・明治期の漂流民にかかわる文書、墓石、位牌、遺品、伝承などを求めて日本各地を巡っている。著書に『嘉永無人島漂流記』(三一書房)、『松栄丸「広東」漂流物語』(無明舎出版)、『新編鳥島漂着物語』(天夢人)がある。

● 会員は申込不要。ご案内をメールでお送りします。
メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

● 非会員の方は、メールでお申し込みください。
※ 希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
お申込みいただいた方には3月17日(水)までにご連絡いたします。

■ 申込〆切: 2021年3月16日(火) 正午(12:00)

■ 申込先: ofune@babit.info 大野康世

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み(非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の開催予定日: 4月24日(土)・5月22日(土)・6月26日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文科学、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々との交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回) / 総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

